

MTP40S-JB/41S-JBユーザーマニュアル

B型ワイヤレス
ボディパック型
トランスミッター



INTRODUCTION

MTP40S-JB/41S-JBは、ワイヤレスマイク用に特別設計された極めて小型で軽量のボディバック型トランスミッターです。

OLEDディスプレイやメニューに直接アクセスできる専用ボタン、ジョグダイヤル式セレクターにより操作や設定が非常に早く、簡単に行うことができます。

ノイズや相互変調に対する安定性が強化されるとともに、最新のWISYCOMの無線技術を搭載しています。

図1

電源をオン：
電源スイッチを「I」の位置に動かします



ディスプレイを表示させる：

ジョグダイヤル式セレクターを押す

RGB LED
(Red, Green, Blue)

送信機のカバーを開ける：

サイドのボタンを押しながらカバーを手前に倒す
バッテリースペースやジョグダイヤル式セレクター、
メニュー専用ボタンがあります

- ① 電源を入ると送信が有効になります
- ② RF送信/バッテリーステータス/AFピーク/PTT(Push to talk)のステータス情報を表示します
- ③ 設定されたステータスや送信機の設定の為にOLED
- ④ CH、GAINメニュー専用ボタン、ジョグダイヤル式セレクター
- ⑤ バッテリースペース
- ⑥ カバー



図2

SAFETY INSTRUCTION

- ・まず、このセーフティインストラクションとマニュアルをお読みいただき、それに従ってください。
- ・マニュアルを無くさないでください。
- ・この機器を雨の中や水の近くで使用しないでください。
また、ヒーターの近くや動作温度より高い環境で使用しないでください。
- ・この機器を開けないでください。
- ・液体や湿気、機器の落下等で正しく動作しない場合は販売店もしくは弊社へ連絡をお願いします。
- ・メーカーに認定された修理パーツ以外使用しないでください。
- ・機器を掃除する場合は乾いた布で行い、液体は使用しないでください。
- ・シリアルナンバーをマニュアルの表紙に記載してください。
修理が必要になった際にシリアルナンバーをお知らせください。
- ・機器の警告ラベルを順守してください。
- ・セーフティインストラクションやマニュアルに従わない操作方法によってダメージや故障が発生した場合は WISYCOMIは保証責任を辞退いたします。

LED INDICATIONS

機器正面のRGB LED(赤、緑、青)はトランスミッターのステータスを表します
ステータスは以下の通りとなります

- 送信ステータス:緑の場合は電波が送信されています
(機器の電源を入れた際はLEDが赤が点灯し、その後緑が点灯すると送信が開始されます)
- バッテリーステータス:緑-バッテリー残量充分、ゆっくり点滅-25%以下、素早く点滅-12%以下
- モジュレーションピークステータス(Onの場合):ピークの場合赤が点灯
- リミッターステータス(Onの場合):リミッター作動時に青が点灯

BATTERIES

MTP40S-JB/41S-JBは単3アルカリ電池、ニッケル水素電池またはリチウムイオン電池で動作します
(MTP40S-JBは単3電池2本、MTP41S-JBは単3電池1本にて駆動)

"RF/Battery"メニューにて正しい電池の種類を選択してください

バッテリーステータスはOLEDディスプレイのバッテリーバーもしくはLEDステータスにて確認できます

バッテリー交換

- ・トランスミッターのカバーを開き、指示されている向きで電池を挿入します
- ・電池は常時2本同時に交換してください

POWERING UP

電源スイッチを「I」の位置に動かし(図1を参照)トランスミッターを作動します
 前面のRGB LEDが赤く点灯後、送信回路がONになると緑の点灯に変わります
 (バッテリーの残量が少ない場合は点滅します)

※電波を出さないRFオフモードは9ページを参照

SETUP CONTROL

トランスミッターのカバーを開けるとディスプレイと設定用コントローラーが確認できます(図3参照)

- A. OLEDグラフィックディスプレイ
- B. チャンネルメニュー専用ボタン(CH)
- C. マイクゲインメニュー専用ボタン(GAIN)
- D. ジョグダイヤル式セレクター
(UP/DOWN/CLICK)

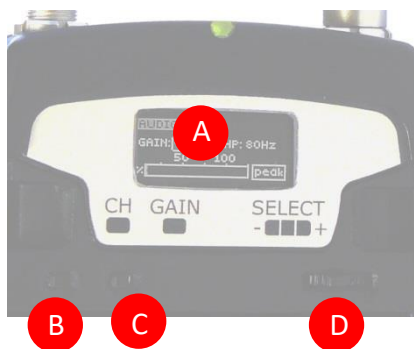


図3

OLED画面がオンになった場合の画面表示

ジョグダイヤル式セレクターを押す(いわゆるCLICKする)とOLEDがオンになります。
 最初にシリアル番号及びブランドロゴが表示されてからステータスメニューが表示されます。

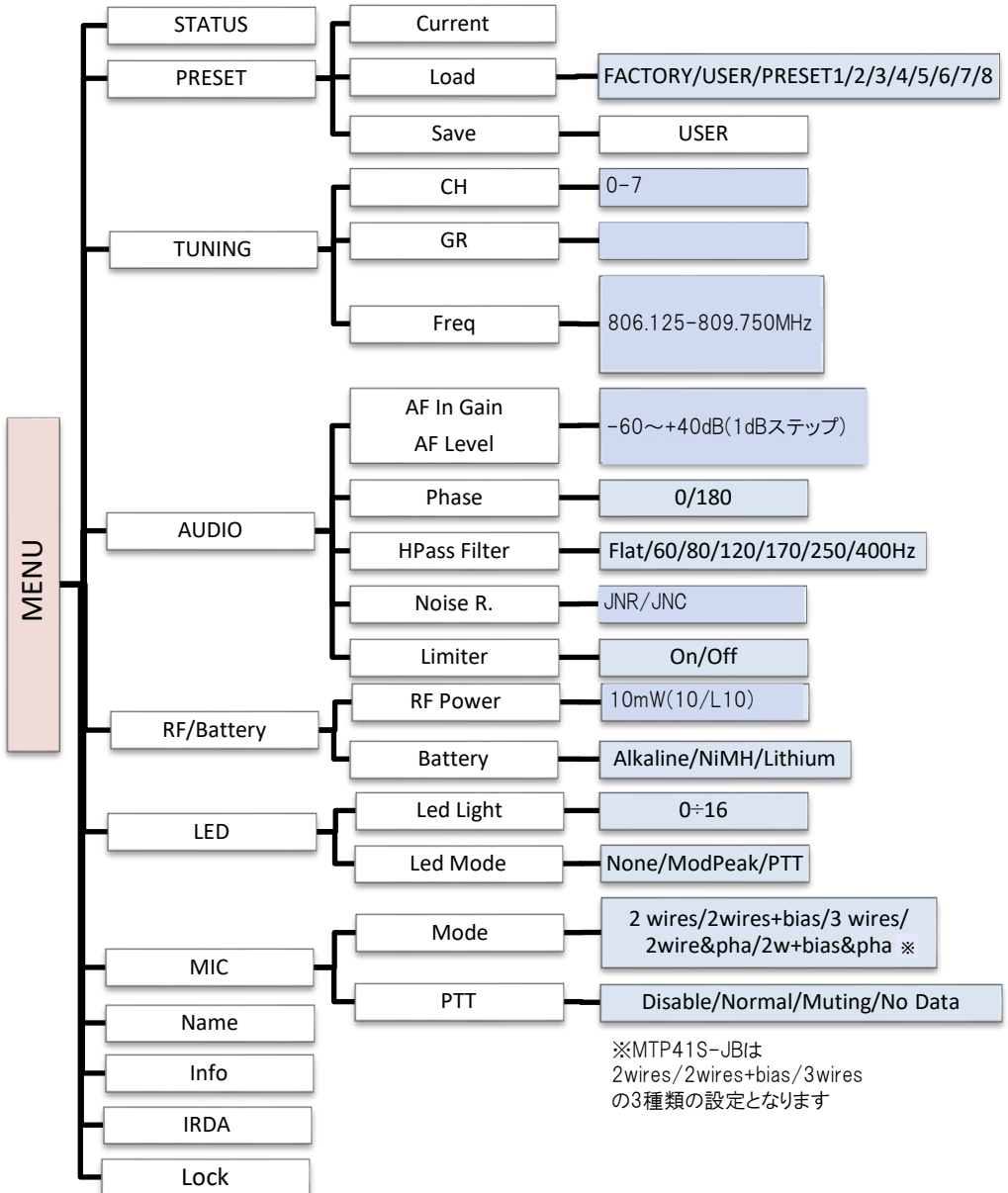
ジョグダイヤル式セレクターを押し続けるとシリアル番号の画面が表示され続けます

OLED画面がオフになる条件

オーディオレベルが公称値の5%以上のレベルで入力されている状態で<AUDIO>メニューが開いている状態以外
 は約15秒後に自動的にオフになります

DISPLAY MENU

セットアップメニューは連続的にアクセスできます



Preset parameters

ジョグダイヤル式セレクターですべてのメニューに順番にアクセスできます
 ジョグダイヤル式セレクターを押すとそのメニューが編集モードになります
 変更できる設定が点滅します



ジョグダイヤル式セレクターの<+/->で設定もしくは変更するメニューを表示させ、
 ジョグダイヤル式セレクターを押すと変更内容が確定し終了します
 何もボタンを押さないで数秒が経過すると変更した設定は確定せずに終了します

<START UP> menu

これらの画面は電源投入後の数秒間表示されます

	<p>この画面は使用するべきアンテナの情報が表示されます 表示される数字は使用対象アンテナの中心周波数です (日本仕様のB型は"808"と表示されます)</p>
	<p>この画面では製品に関する以下の情報が表示されます -製品型番(MTP40S-JB/MTP41S-JB) -ファームウェアの番号(例: 1.30.0A) -拡張形式による送信周波数 -シリアル番号 ジョグダイヤル式セレクターを押し続けるとこの表示を維持できます</p>

<STATUS> menu

上記メニューの後に表示される最初の画面です

	<p>以下の主要情報が表示されます -設定されているチャンネル/グループ(例: ch:00 GR:39) -設定されている周波数(例: 566.000MHz) -設定されているマイクゲイン(例: +00dB) -設定されているハイパスフィルター(60Hz) -設定されている送信モード(RF 10もしくはRF L10) -バッテリーの残量を示すバッテリーバー</p>
--	---

<PRESET> menu

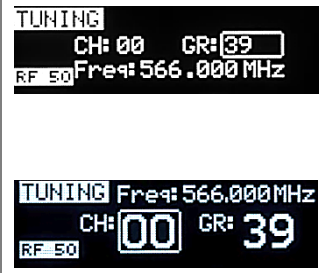
M

	<p>MTP40S-JB/MTP41S-JBは設定したプリセットを呼び出すことができます。 "FACTORY"はWISYCOMの工場出荷時の設定です。 "USER"は"USER"に保存した設定を呼び出すことができます。 "USER"はサブメニューで"save to"に合わせて"ON/SEL"を押すと現在の設定を保存することができます。 プリセットより設定が変更された(チャンネル/グループの変更は除く)場合はアスタリスクマークが表示されます。 アスタリスクマークは変更した設定を現在選択しているプリセットに保存するまで表示されます。</p>
--	--

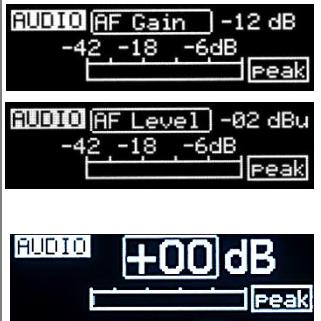
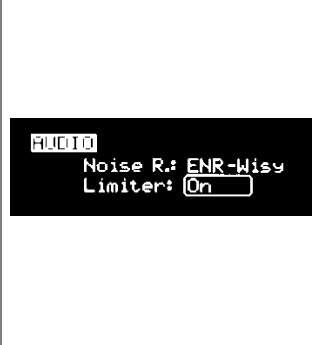
PRESET1~PRESET8の設定はプログラムキットのUPK300/UPKMiniもしくは使用した赤外線にて変更可能です。




<TUNING> menu

 <p>TUNING CH: 00 GR: 39 RF 50 Freq: 566.000 MHz</p> <p>TUNING Freq: 566.000 MHz CH: 00 GR: 39 RF 50</p>	<p>このメニューではチャンネル/グループの組み合わせで周波数を変更できません。グループの数字がディスプレイの右側に表示されます。</p> <p>"SY"と表示されている場合はレシーバーより赤外線で"Sync"したことを意味します。ジョグダイヤル式セクターの<+/->でチャンネルもしくはグループを選択しEdit Modeの状態にして任意の周波数を設定してください。</p> <p>前面パネルの<CH>ボタンを押してもこのメニューに入ることができます。(クイックメニュー)</p> <p>初めにチャンネルを設定し、チャンネルのEdit Modeが終了した状態で+ボタンを押すとグループの設定が可能となります。クイックメニューの場合は設定画面が異なります。</p>
--	---


<AUDIO> menu

 <p>AUDIO RF Gain: -12 dB -42 -18 -6dB Peak</p> <p>AUDIO RF Level: -02 dB -42 -18 -6dB Peak</p> <p>AUDIO +00 dB Peak</p>	<p>入力感度はAF Gain(単位はdB)かAF Level(単位はdBu)に設定が可能です。(日本仕様はAF Gain仕様のみとなります。)</p> <p>適正なオーディオゲインの設定をするために音声入力を表すオーディオバーとピークホールドインジケータが表示されます。</p> <p>オーディオバーがピークに届かないくらいの最大入力のゲインをセットしてください。(オーディオバーのピークが-6dB近くになる設定を試してください。)</p> <p>前面パネルの<GAIN>ボタンを押してもこのメニューに入ることができます。(クイックメニュー)</p> <p>ゲインが点滅している時に<+/->ボタンで任意のゲインを設定してください。クイックメニューの場合は設定画面が異なります。</p>
 <p>AUDIO Phase: 0° HP Filt.: Flat</p>	<p>2番目のオーディオメニューでは以下の設定を行います</p> <p>-位相(0° もしくは180°)</p> <p>注:トランスミッターのMICモードが「2wires+bias」に設定されている場合は「2線式バイアス」のマイクロフォンは位相が反転する為、自動的に位相が反転されシステム全体(トランスミッターとマイクロフォン)の位相は0° となります。</p> <p>自動的に位相を反転されている場合は右側にアスタリスクマークが表示されます</p> <p>-ハイパスフィルター Flat/60Hz/80Hz/120Hz/170Hz/250Hz/400Hz</p>
 <p>AUDIO Noise R.: ENR-Wisy Limiter: On</p>	<p>3番目のオーディオメニューではノイズリダクション(コンパンダー)とリミッターを設定します</p> <p>MTP40S-JB/41S-JBは2つの違うコンパンダーシステムを搭載しております</p> <p>JNR-Wisy 最大ノイズリダクションシステム</p> <p>JNC-Wisy 音声を忠実に復調するシステム (特別なボーカルや楽器に使用します。)</p> <p>リミッターをONIにした場合、ピークを越えた30dBまでの音声信号を音質を悪くすることなくカットではなく減衰させます。</p> <p>リミッターは可変アッテネーター(フィードバックシステムにより)の働きをします。そして歪み率を<3%に維持します。</p> <p>リミッターが作動したときは正面のLEDは青く点灯します。</p> <p>OFFに設定した場合は作動しません。</p>


<RF/BATTERY> menu

	<p>このメニューでは送信出力とバッテリーのタイプを設定できます</p> <ul style="list-style-type: none"> -送信モードは10mWとL10mWがあります -L10mWモードはB帯で最大15波運用できるモードです。 -使用されるバッテリーのタイプをアルカリ、ニッケル水素、リチウムから選択してください
--	--

<LED> menu


	<p>正面のLED明るさを調整します。 調整できる輝度は0～16です。 LEDモードは以下の通りに設定できます</p> <ul style="list-style-type: none"> -None: AF入力がピークに達しても緑が点灯したままとなります。 -ModPeak: AF入力がピークに達した際に赤く点滅します。 (リミッターがONの場合はAF入力がピークに達した際は青く点滅します。) -PTT: PTTボタンが押された際に赤く点灯します。
--	--

<MIC> menu

	<p>Mode設定: 以下のマイクロフォンのモードを設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> -2wires: 音声入力用(ダイナミックマイク、楽器等) -2wires+bias: 2ワイヤーマイクロフォン用(ラベリアマイク等) -3wires: 3ワイヤーマイクロフォン用 -2wires & pha48: ファンタムアダプターPHA48を使用する場合 -2wires+bias & pha: 2ワイヤーマイクロフォンとファンタムアダプターPHA48を併用する場合 <p>※2wires & pha48, 2wires+bias & phaはMTP40のみの設定となります</p>
<p>PTTの設定: この設定により平常時またはPTTボタンが押された場合にトランスミッターがどの情報をどのように送信するか以下の様に定義されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> -Disable: PTTボタンが押されても何も送信されません。 (トランスミッターはAF信号とトーン信号を送信しています) -Normal: PTTボタンが押されるとトランスミッターは異なるRF信号を送信します レーザーの設定によりLINE、COM、あるいは両方のアウトプットにAF信号が出力されます -Muting: PTTボタンが押された場合、AF信号を送信しません -No Data: トランスミッターはトーン信号もバッテリーデータも送信しません 	


注: DPAの変換コネクタ(2ピンマイクロドットコネクタ)を使用する場合はMODEメニューは"2wires"もしくは"2wires+bias"しか設定できなくなります

<NAME> menu

	<p>この画面では送信にセットされているNAMEを表示することができます <CH>と<GAIN>ボタンを同時に押してもこのメニューに入ることができません</p>
--	--


<INFO> menu

M

	<p>このメニューでは以下の内容が表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> - ファームウェアのバージョン - ハードウェアのバージョン - シリアルナンバー - 帯域幅 - ブートローダーのバージョン - オプション
--	--

<IRDA> menu


M

	<p>このメニューが表示されている間は受信機からのSync情報の受信、またはファームウェアのアップグレードの為にIRDAに接続が可能となります。 注: IRDAインターフェイスが有効で、約10秒間更新が無い場合はIRDAインターフェイスは自動的にOFFとなります。</p>
--	--

この機器のIRDA画面は約14秒間有効でその後は画面がOFFとなります。


<LOCK> menu

M

	<p>このメニューが表示されているときにジョグセレクターのボタンを2秒長押しすると電波を送信した状態でロックがかかります。 ロックを解除する場合は再度ボタンを2秒長押ししてください。</p>
--	---

<BOOTLOAD> menu

BOOTLOADメニューは<CH>メニューと<GAIN>ボタンを押したまま電源を入れるとBOOTLOADERモードで電源が入ります。
ファームウェアのアップデートの際に使用します。

	<p>ファームウェアアップデートの為BOOTLOADERになっていることを示します。</p>
---	--

<RFオフモード>

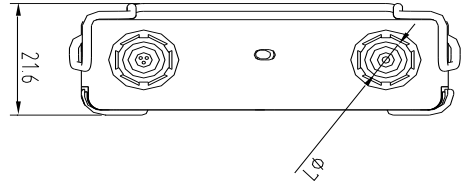
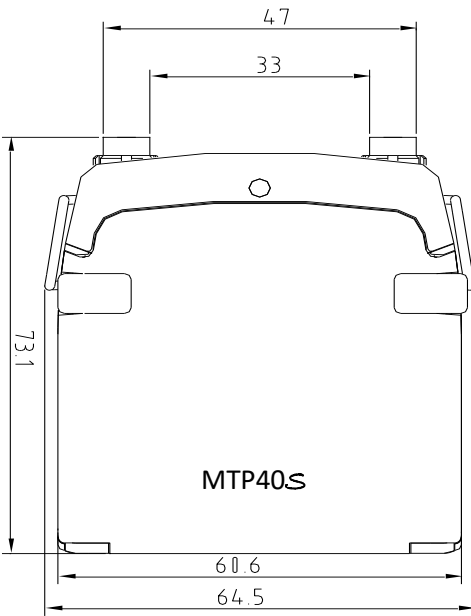
電波を出さずに電源を入れることにより周波数の変更等、現状運用している電波状況に影響を与えることなく設定を変更することが出来ます



電源OFFの状態ではジョグダイヤル式セレクターを画面が表示されるまで押すとRFオフモードとなります。
RFオフモードの場合はディスプレイの右上に"RF off"と表示されます。
通常モードにする場合は電源スイッチをONにします。
約15秒間どのボタンも押さないで電源がOFFになります。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

切替可能チャンネル	30チャンネル
周波数帯域幅	806.125MHz-809.750MHz
周波数	水晶PLL周波数シンセサイザー回路 (25kHz刻み)
周波数安定度	±2.5ppm (定格温度範囲内)
動作温度	-10°C~+55°C
最大RF電力	10mW (ERP 現地基準に準拠)
スプリアス放射	2nW未満
変調	50μsプリエンファシス付き広帯域FM
周波数偏位	±40kHz (ピーク偏位: ±56kHz)
テレメトリー機能	MTP40S-JB/MTP41S-JBは以下に適用したデジタル変調副搬送波の送信します ・トーンスケルチ動作 ・リモートバッテリー監視 ・PTT (ブッシュアウトワーク)動作
AF入力コネクタ— LEMOオプション	5つのオプションをマイクメニューにて設定することができます ・2 wires: ゲイン設定範囲 -60dB~+40dB 電源供給無 ・2 wires+bias: ゲイン設定範囲 -60dB~+40dB 5.5Vで4k7電源供給 ・3 wires: ゲイン設定範囲 -60dB~+40dB ・2 wires & phantom: ゲイン設定範囲 -60dB~+40dB ・2 wires+bias & phantom: ゲイン設定範囲 -60dB~+40dB 5.5Vで4k7電源供給
AF入力レベル	100dB ※ピーク偏位 (1kHz)で-54dBu (775 μV)~+46dBu (15.5V)のレンジ内にて 1dBステップにて調整可能
最大入力レベル	クリッピングで+46dB (15.5V)、公称レベルで+20dB (7.75V)
ノイズリダクション	JNR: 独立したアタックタイムとリリースタイムを持った最適ノイズリダクションシステム JNC: 独立したアタックタイムとリリースタイムを持ち、軽減プリエンファシスを搭載した 音声に最適なノイズリダクションシステム
AF帯域幅	・45Hz-21kHz (3dB) ・55Hz-20kHz (1dB)
歪み	<0.3% (標準:0.15%)
信号対ノイズ比	・115dB(A)rms 40kHz偏位 ・121dB(A)rms 56kHz偏位
LED	赤と緑、青のLEDは以下のステータスを示します ・バッテリー残量のステータス ・電波送信時: 緑点灯 25%以上: 緑点灯、25%以下: ゆっくり点滅 ・AF入力ピーク時、PTT動作時: 赤点灯 12%以下: すばやく点滅 (ピークに達しリミッターがOFFの場合) ・リミッター動作時: 青点灯
ディスプレイ	ハイコントラストのOLEDディスプレイ (128x32ピクセル) 8段階のバッテリー残量インジケータ: 7つ残量バーと点滅でバッテリー残量を表示 (点滅時はバッテリー残量約12%)
PTT機能	AFコネクタの3番ピンを外部ブッシュボタンにセットアップすることが可能
電源	単三電池 (アルカリ、ニッケル水素充電電池、リチウムイオン充電電池)
駆動時間	MTP40S-JB: 10モード時 約12時間、L10モード時 約6時間 MTP41S-JB: 10モード時 約6時間、L10モード時 約3時間
重量	MTP40S-JB 約85g/MTP41S-JB 約80g (両機種ともバッテリー含まず)



Note: unit is mm

POWER PROFILE & COUNTRY

FREQUENCY RANGE:

- EU** max power 50mW (Europe)
- 0W1 / EUX** max power 100mW (Europe)
- US** max power 50mW (USA)
- USX** max power 100mW (USA & Canada)
- JP** max power 10mW (Japan)
- NZ** max power 100mW (New Zealand)
- CN** max power 50mW (China)

OPTIONS:

- ADT** hole on battery housing for ADT40

VARIANTS:

▪ AUDIO CONNECTOR

- LM** 3 PIN LEMO CONNECTOR
- DP** 2 PIN DPA MICRODOT CONNECTOR





▪ COLOR

- PV** body color titanium gray (ceramic coating)
- BL** body color black (powder coating)

▪ FREQUENCY RANGE

- B5** 470-654 MHz
- B2** 566-798 MHz
- B3** 510-698 MHz

Compliance

Model	In Compliance with	Max Power	Country
MTP40S MTP40S-EU	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2	50mW	Europe CE
MTP40S-0W1 MTP40S-EUX	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2 EN 300 454-1/-2	100mW* ¹	Europe CE
MTP40S-US	 PART 74 FCC-ID: POUMTP40 Limited to 698MHz	50mW	USA
MTP40S-USX	 PART 74 FCC-ID: POUMTP40SUSX RSS-123, RSS-102 IC: 11967A-MTP40SUSX Limited to 698MHz	100mW* ²	USA, Canada
MTP40S-JP	  202-LSC057 Limited to 714 MHz MIC marking identifier can be found in the battery compartment.	10mW	Japan
MTP40S-NZ	EN 300 422-1/-2 EN 300 454-1/-2 Limited to the range 502÷698MHz	100mW	New Zealand

*¹ MTP40S-0W1 / MTP40S-EUX is not an SRD device, thus it requires specific authorization by your local frequency authority!

*² in accordance with KDB 447498 D01 General RF Exposure Guidance v05r02.



Before putting the device into operation, please observe the respective country-specific regulations!



WISYCOM™

VOX INFRAGILIS

Via Spin 156 • I-36060 Romano d'Ezzelino • Italy
Tel. +39 -0424 -382605 • Fax +39 - 0424 - 382733
www.wisycom.com • e-mail: sales@wisycom.com

